

第4回飯山市環境審議会次第 顛末

日時 平成23年8月25日(木) 午前10時
場所 飯山市役所4階 第1委員会室

出席委員12名(欠席:大熊委員、小林和男委員)

1 開 会

(上原会長)暑い日が続いていたが、最近は雨が続きおり畑の草ばかりが大きくなっている。本日も審議をお願いしたい。

2 審 議

(事務局) 次第の「2 審議」について、本日の流れを説明させていただく。

(1) 庁内検討案(第1案)は、前回提言をいただいた分野「生活環境」「快適環境」について庁内検討案の第1回目の案として資料4-1、4-2にまとめさせていただいたので検討をお願いしたい。

(2) 庁内検討案(第2案)は、前回の審議会で1回目の案を出し提言いただいた「自然環境」「地球環境問題」について、再度修正・追加をし、製本レイアウトにして資料4-3、4-4に示したものを元に審議をいただきたい。

(3) は今回初めて提言いただく分野で、「資源循環」が資料4-6、「環境保全活動・環境教育」が資料4-7となっている。

(1) 庁内検討案(第1案)について

・「生活環境」分野

(事務局) 資料4-1が「生活環境」、4-2が「快適環境」分野となっている。赤字で記載している部分が修正箇所。一部、案が出来上がっておらず空白の部分があるのでご了承を。

【その他、詳細は資料4-1へ記載】

・「快適環境」分野

【詳細は資料4-2へ記載】

(2) 庁内検討案(第2案)について

・「自然環境」分野

(事務局) 資料4-3をご覧ください。前回までに審議・提言をいただいた事項を盛り込み、実際のグラフや資料等に入れられる部分は入れたものだが、前回から追加された項目として、5ページ「(5)生物多様性の保全」「(6)外来生物」があるので、確認をいただきたい。

1-1 気象

(森)1ページの気象で10年前と比べるとかなり雪の量が減っていると前回の資料示されていたので、その部分がわかるような記載をしたほうがいいのでは。

(事務局)前回の資料にあった10年前の数値は観測地点が示されておらず、掲載するデータとしては不適當であったため、気象庁の統計データから平成元年以降の降雪量と冬期間の平均気温数値をグラフ化したものを、2ページに掲載した。

(小林け)グラフは横にスケールを入れたほうがいい。そうすると平均気温が上がっていることがわかるはず。

1-2 地形

意見なし

1-3 植生、自然保護等

(井田)細かい修正点あるかもしれないので、あれば後で事務局へ伝える。

(会長)絶滅危惧種についても入れたほうが良いのでは。

(事務局)一覧表のような形で載せることを検討したい。

(井田)「自然保護」という項目については、内容として生物多様性のほうへ入れてもいいと思う。

(事務局)検討する。

(服部)ハクビシンなどは外来生物に入るものですか。

(井田)入ると思う。外来生物は特定外来種を中心に掲載すればよいのではと思う。

(事務局)外来種リストは作成中であるので、後日でもご覧いただいて皆さんのご意見を伺いたいと思う。

1-4 河川・湖沼

(会長)沼池は「望湖」という名前もあるが、どちらが正しいのか。

(事務局)確認する。

1-5 地下水

(服部)市内で地下水に関連する地盤沈下はあるのか。

(事務局)地盤沈下は聞かないが、一方で掘ったら一方の井戸で水が枯れてしまうという話は聞いた。

(服部)この計画に入れるかどうかは別だが、今回の大地震で日本列島がハワイ方向へ動いたと聞いている。飯山も数十センチずれていることが国土地理院でも公表されているので、こうした事実を記載するのか、掲載する分野も含め検討してはどうか。

(事務局)担当課とも相談して状況を確認し、検討する。

・「地球環境問題」分野

【時間の都合により、意見あれば委員個々に事務局へ伝えることした】

(3) 環境の現状に関する検証、望ましい環境像実現に向けた提言

・第2章第4節「資源循環」

(森)量だけでなく、どのくらいコストや重油の量がかかるというような事も入れるとわかりやすいのでは。

(事務局)エコパークは24時間、炉を燃焼させており、ごみが減っても重油の減少にはつながらない。ただ、焼却灰の埋め立てを行っている最終処分場をより長く使うことができるようになる。また内側が銀色の紙パックなど、現在もえるごみとして回収しているものの中から、更に資源物として回収するものを増やせばごみの量は減りリサイクル率は向上するが、回収のためのコストを考えると上がってしまうということがある、難しい問題でもある。

・第2章第6節「環境保全活動・環境教育」

【田中委員より提言(審議会終了後事務局提出分)】

・平成23年に「ふるさと教育指導計画」を作成。子供たちが地域の自然・文化・歴史を知ることにより、豊かな自然環境を守り育てていく意識を醸成していこうとしている。またごみの分別や資源回収についても、学校をあげて取り組んでいる。

・「啓蒙」という言葉はやや上から目線の表現なので、「啓発」だけでよいのではないか。

(4) その他

(服部)先日堆肥センター関係で動きがあったと新聞報道があったが、状況を聞かせていただきたい。

(市川孝※)8月20日に木島地区で住民総決起大会を開催し、225名が参加。当日、反対の決議をし堆肥センターへ決議文を送った。22日は堆肥センターから住民への説明会が行われた。しかし当日になり、責任ある社長が腹痛で欠席したため、説明会は散会となった。

※市川孝美委員は地元木島地区区長会長

3 閉 会